

日本造血細胞移植学会会員の皆様へ APBMT 入会のご案内

APBMT (Asia-Pacific Blood and Marrow Transplantation Group)(アジア太平洋造血幹細胞移植学会)は 1990 年に創設され、アジア太平洋地域の造血幹細胞移植に関する情報の共有と移植の発展を目的に活動を継続しています。事務局は設立当初より日本に置かれ、現在、愛知科大学造血細胞移植振興講座と名古屋大学造血細胞移植情報管理生物統計学講座がその任務を行っています。

2011 年現在の加盟国・地域は日本、中国、韓国、台湾、香港、ベトナム、タイ、マレーシア、シンガポール、インド、パキスタン、イラン、フィリピン、インドネシア、オーストラリア、ニュージーランドの 16 を数え、2010 年までに 4 回の移植件数調査 (Activity Survey) を行い、報告書を作成しました。また、7 つの Working Group (Severe Aplastic Anemia, Thalassemia, Nutrition Support, Late Effects, AML, CML, HLA, Congenital Marrow Failure Syndrome) がスタートし参加者を募集しています。

APBMT 年次総会は参加各国で毎年秋に開催され、多数の口演やポスター発表とともにアジア各国の医師・研究者との情報交換や共同研究企画が行われます。第 16 回 APBMT 年次総会は 2011 年 10 月 30 日~31 日までオーストラリア・シドニーにおいてオーストラリア・ニュージーランドの造血細胞移植学会 (HAA-ISHAPD 2011) と共催する形で開催され(<http://www.haa-ap2011.org>)、第 17 回総会は 2012 年 10 月にインド・チェンナイで予定されています。

APBMT における現在の topic は中国を中心に急増するハプロ移植と、南~南西アジア各国に多いサラセミアに対する移植です。これらアジア特有およびアジア内でも民族間に差のある移植の傾向は世界的にも注目されています。2010 年からは APBMT 参加各国における患者毎の移植データの集計を開始しており、この地域での移植データベースを確立することによりアジア地域における移植の特徴をより詳しく解析できるようになる予定です。

APBMT ではこうした活動に興味を持つ皆様の会員登録を募集しております。現在日本からの参加者は 21 名となっていますが、各国からの会員が増加する中、アジア太平洋地域の造血幹細胞移植を代表する我が国からの会員が増えることが、APBMT の活動を今後も日本が中心となってけん引していく上で非常に重要になるからです。

APBMT への入会をご希望される方は、HP(<http://www.apbmt.org>)の Contact のページから Application form をダウンロードしてお送りいただくか、直接事務局までメールでご一報ください。また、APBMT の Annual Report は 3000 円で販売しております。

皆様からのご連絡をお待ちしています。

上記の APBMT の活動内容は HP にも詳しく掲載されていますので是非ご覧ください。

APBMT 事務局

名古屋大学医学部 造血細胞移植情報管理・生物統計学

〒461-0047 名古屋市東区大幸南 1-1-20

Tel&Fax: 052-719-1973

愛知医科大学 造血細胞移植振興寄附講座

〒480-1195 愛知郡長久手町大字岩作字雁又 21

Tel: 0561-62-3311 内線 2375 Fax: 0561-61-3180

Email: office@apbmt.org

飯田美奈子

熱田由子

兵理絵

鈴木律朗

小寺良尚